

浜銀総研 News Release



2011年 3月22日

上向きに転じた神奈川県内中堅・中小企業の景況感

—— 企業経営予測調査2011年 3月調査結果 ——

要 旨

【景況感】

神奈川県内中堅・中小企業の2011年3月末時点における業況判断D. I.（全産業ベース、業況が「良い」－「悪い」、回答社数構成比、%）は▲27となり、前回2010年12月調査に比べて5ポイントの上昇となった。

今回の業況判断D. I. 値を製造業、非製造業の別にみると、製造業が▲17、非製造業は▲34とそれぞれ前回調査比5ポイント上昇した。製造業では電子部品・デバイスや輸送機械、鉄鋼・非鉄、非製造業においては小売や卸売、運輸・倉庫でD. I. 値が大きく上昇した。反面で、金属製品や電気機械、飲食店・宿泊、建設などでは景況感が悪化した。

3か月先（6月末）の見通しについては、非製造業で改善が続く一方で製造業は悪化が見込まれていることから、全産業ベースのD. I. 値は▲28と3月末比1ポイントの低下となる見通しである。

県内企業の景況感は2010年終盤の悪化から上向きに転じ、県内景気が底堅く推移してきたことが確認された。ただ、今回調査が実質的に終了した後に発生した東北地方太平洋沖地震及びその後の電力や燃料不足などの影響で、先行きは不透明感が増している。3月後半における経済活動は大きく落ち込み、また企業のマインドについても急速に冷え込んでいるものと推察される。

【今春の賃上げ状況】

今春の賃上げ状況について尋ねたところ、賃上げを「実施する」企業の割合が29.6%、「一部実施する」とする企業の割合も17.9%を占め、両者をあわせると47.5%となった。反面で「実施しない」とする企業は32.9%と3割以上を占めたものの、前年調査の38.8%から5.9%ポイント低下した。また、前年と比べた賃上げ幅については「前年並み」とする企業が最も多く、賃上げを予定する企業の63.0%を占めた。賃上げ幅を「拡大する」とする企業は14.1%にとどまったものの、前年調査の11.3%から2.8%ポイント上昇しており、県内企業における賃金は緩やかながら改善方向にあることが確認された。

【本件についてのお問い合わせ先】

(株)浜銀総合研究所 調査部 新瀧健一
TEL. 045-225-2375 (ダイヤル)

企業経営予測調査

2011年3月実施

四半期別（第159回）結果

対象企業 神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした1,319社
 （うち製造業432社、非製造業887社）

回収率43.5%（回答企業574社、うち製造業226社、非製造業348社）

アンケート回収期間 2011年3月1日～3月17日

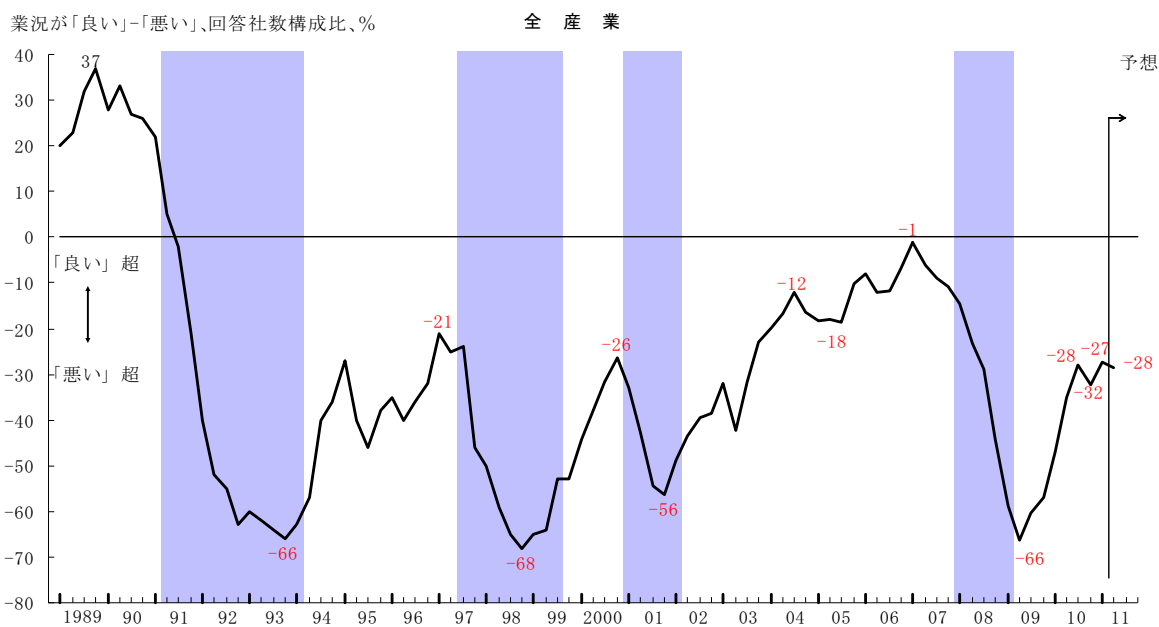
業況判断D.I.

（2011年3月末）

神奈川県内中堅・中小企業の2011年3月末時点における業況判断D.I.（全産業ベース、業況が「良い」-「悪い」、回答社数構成比、%）は▲27となった。前回の2010年12月調査に比べて5ポイントの上昇と景況感は上向きに転じ、前回調査時点の予想値(▲36)を9ポイント上回った。

今回の業況判断D.I.を製造業、非製造業の別にみると、製造業が前回調査の▲22から今回▲17へと5ポイント上昇した。業種別には前回調査で急低下した電子部品・デバイスと鉄鋼・非鉄が大幅な改善に転じたほか、輸送機械も「良い」超幅が大きく拡大した。反面で、金属製品と電気機械ではD.I.値が低下した。一方の非製造業についても前回の▲39から▲34へと5ポイント上昇した。業種別には前回調査で落ち込んだ小売と卸売、運輸・倉庫が大幅な改善となったほか、サービスでも「悪い」超幅の縮小が続いた。反面で、飲食店・宿泊と建設ではD.I.値が低下した。

業況判断D.I.の推移



(注) 各年の調査月は3、6、9、12月。シャドーは景気後退期を示す。

(3か月先の見通し)

6月末時点の業況判断D.I.は、全産業ベースで▲28と3月末の実績に比べて1ポイントの低下が見込まれている。

製造業では、輸送機械や鉄鋼・非鉄、化学・石油などでD.I.値の低下が予想されていることから、製造業全体で▲26と3月末比9ポイントの悪化が見込まれている。一方、非製造業では卸売と小売で景況感の改善が見込まれていることから、全体では▲30と3月末比4ポイント上昇する見通しである。

県内企業の景況感は2010年終盤の悪化から上向きに転じ、県内景気が底堅く推移してきたことが確認された。ただ、今回調査が実質的に終了した後に発生した東北地方太平洋沖地震及びその後の電力や燃料不足などの影響で、先行きは不透明感が増している。3月後半における経済活動は大きく落ち込み、またマインドについても急速に冷え込んでいるものと推察される。

足下の業況判断D.I.と3か月先の見通し

(業況判断D.I.:業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、%)

	2010年 9月末	2010年 12月末	2011年 3月末	2011年 6月末 (予想)
全産業	▲ 28	▲ 32	▲ 27 (▲ 36)	▲ 28
製造業	▲ 21	▲ 22	▲ 17 (▲ 31)	▲ 26
一般機械	▲ 26	▲ 29	▲ 23 (▲ 45)	▲ 29
電気機械	▲ 19	▲ 26	▲ 34 (▲ 34)	▲ 31
電子部品・デバイス	▲ 11	▲ 43	▲ 13 (▲ 43)	▲ 13
輸送機械	▲ 15	3	24 (▲ 6)	3
食料品	▲ 6	▲ 31	▲ 29 (▲ 44)	▲ 29
化学・石油	▲ 23	▲ 45	▲ 40 (▲ 65)	▲ 47
鉄鋼・非鉄	6	▲ 13	8 (▲ 25)	0
金属製品	▲ 24	▲ 18	▲ 30 (▲ 30)	▲ 24
非製造業	▲ 32	▲ 39	▲ 34 (▲ 39)	▲ 30
建設	▲ 38	▲ 42	▲ 47 (▲ 43)	▲ 47
不動産	0	▲ 4	▲ 4 (▲ 15)	▲ 4
運輸・倉庫	▲ 10	▲ 34	▲ 24 (▲ 30)	▲ 24
卸売	▲ 31	▲ 41	▲ 29 (▲ 48)	▲ 13
小売	▲ 39	▲ 49	▲ 34 (▲ 38)	▲ 22
飲食店・宿泊	▲ 50	▲ 47	▲ 56 (▲ 58)	▲ 56
サービス	▲ 38	▲ 35	▲ 29 (▲ 36)	▲ 29

(注) カッコ内は前回2010年12月調査時点における2011年3月末予想である。

(トピック)

県内企業の今春の賃上げ状況

(今春、約半数の企業がなんらかのかたちで賃上げを実施)

今春の賃上げ状況について尋ねたところ、賃上げを「実施する」企業の割合が29.6%、「一部実施する」とする企業の割合も17.9%を占め、両者をあわせると47.5%で約半数となった。反面で「実施しない」とする企業は32.9%と3割以上を占めたものの、前年調査の38.8%と比べれば5.9%ポイント低下した。また、「賃下げ、賃金カットを実施する」企業の割合も1.4%と前年調査の5.3%から3.9%ポイント低下した。

今春の賃上げ実施予定

(回答者数構成比、%)

	実施する	一部実施する	実施しない	賃下げ、賃金カットを実施する	未定
2011年3月調査	29.6	17.9	32.9	1.4	18.2
2010年3月調査	19.7	21.7	38.8	5.3	14.4

(注) 2011年3月調査の回答社数は571社。

(前年から賃上げ幅を拡大する企業は14.1%)

次に、前年と比べた賃上げ幅についてみると、「前年並み」とする企業が全体の63.0%と最も多く、次いで「縮小する」が17.0%を占めた。「拡大する」と回答した企業は14.1%と7社に1社程度の割合にとどまったものの、前年調査の11.3%と比べると2.8%ポイント上昇しており、県内企業における賃金は緩やかながら改善方向にあることが確認された。

前年と比べた賃上げ幅

(回答者数構成比、%)

	拡大する	前年並み	縮小する	未定
2011年3月調査	14.1	63.0	17.0	5.9
2010年3月調査	11.3	51.6	27.8	9.3

(注) 2011年3月調査の回答社数は270社。

以上

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報原に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。